

目次

第1篇 北海道地方の観光地

Introduction : はじめに

No. 1 : 北海道の観光地

第2篇 東北地方の観光地

No. 2 : 青森県の観光地

No. 3 : 岩手県の観光地

No. 4 : 秋田県の観光地

No. 5 : 宮城県の観光地

No. 6 : 山形県の観光地

No. 7 : 福島県の観光地

第3篇 関東地方の観光地

No. 8 : 茨城県の観光地

No. 9 : 栃木県の観光地

No. 10 : 群馬県の観光地

No. 11 : 埼玉県の観光地

No. 12 : 千葉県の観光地

No. 13 : 東京都の観光地

No. 14 : 神奈川県 of 観光地

第4篇 中部地方の観光地

No. 15 : 新潟県の観光地

No. 16 : 長野県の観光地

No. 17 : 山梨県の観光地

No. 18 : 静岡県の観光地

No. 19 : 岐阜県の観光地

No. 20 : 愛知県の観光地

第5篇 北陸地方の観光地

No. 21 : 富山県の観光地

No. 22 : 石川県の観光地

No. 23 : 福井県の観光地

第6篇 近畿地方の観光地

No. 24 : 三重県の観光地

No. 25 : 滋賀県の観光地

No. 26 : 京都府の観光地

No. 27 : 奈良県の観光地

No. 28 : 和歌山県の観光地

No. 29 : 大阪府の観光地

No. 30 : 兵庫県の観光地

第7篇 中国地方の観光地

No. 31 : 鳥取県の観光地

No. 32 : 島根県の観光地

No. 33 : 岡山県の観光地

No. 34 : 広島県の観光地

No. 35 : 山口県の観光地

第8篇 四国地方の観光地

No. 36 : 香川県の観光地

No. 37 : 愛媛県の観光地

No. 38 : 徳島県の観光地

No. 39 : 高知県の観光地

第9篇 九州地方の観光地

No. 40 : 福岡県の観光地

No. 41 : 佐賀県の観光地

No. 42 : 長崎県の観光地

No. 43 : 大分県の観光地

No. 44 : 熊本県の観光地

No. 45 : 宮崎県の観光地

No. 46 : 鹿児島県の観光地

第10篇 沖縄地方の観光地

No. 47 : 沖縄県の観光地

第11篇 その他の観光資源

No. 48 : 日本の国立公園

No. 49 : 日本の世界遺産

No. 50 : その他の項目

本資料に掲載

No. 15 : 新潟県の観光地



(代表的な観光地)

【概要】

長い海岸線を持つため、海沿いには特徴的な観光地が多く、海産物を目当てにするツアーも多く実施されている。

沖には金山のある島として知られる佐渡島がある。

県庁所在地の新潟市は、江戸後期から明治期にかけて栄えた面影が残り、また、佐渡島への入り口になっている。

南部の内陸部は群馬県・長野県に続く高地で、自然にあふれ、スキー場やリゾート地として発展した。

【日本海とその沿岸】

さどがしま
・佐渡島

新潟県の西方の日本海に浮かぶ島。1601年に^{きんざん}金山が発見され、江戸幕府の直轄となり天領であった。西回り航路により他国の文化が伝わり、また配流された人々がもたらす文化も融合して、佐渡特有の文化が生まれた。

- ◆^{そとかいがわ}外海府海岸：北部にある約 50 km にわたる海岸で、奇岩、奇勝が続く景勝地。国の名勝にも指定されている。
- ◆^{せんかくのん}尖閣湾：外海府の一部の約 2 km の海岸線。海中公園に指定されていてグラスボートで海中散歩ができる。

ささかわなが
・笹川流れ

村上市にある 11 km 続く海岸で、国の名勝及び天然記念物。日本海の荒波の浸食によりできた奇岩、岩礁や洞窟など変化に富んだ風景が広がり、遊覧船からは数々の奇岩を眺めることができる。

みおもてがわ
・三面川

村上市を流れる川で、古くから^{さけ}鮭が遡上することで知られる。村上市は北前船の寄港地として栄えた港町。鮭の遡上は 10 月ころから始まり 12 月中旬まで続く。付近の温泉旅館では、塩引き鮭や^{ひず}氷頭なますなどが供される。

おやしらず
・親不知

糸魚川市の海岸線にある崖が続く地域。正式には「^{おやしらず}親不知・^{こしらず}子不知」という。地名の由来は断崖絶壁が続き、親子でも互いに自分のことで精いっぱいになり、相手を心配する余裕がないこととする説がある。

【内陸部】

みようこうこうげん
・妙高高原

^{えちごふじ}越後富士の別名がある^{たけがき}妙高山を中心に広がる地域。夏のハイキングや冬のスキーなど季節を問わずアウトドアが楽しめ、付近には温泉も多いリゾート地。

きよつきょう
・清津峡

十日町市から湯沢町にかけて全長約 12.5 km の日本有数の峡谷で、国の名勝・天然記念物に指定されている。柱状節理の岩肌の間を清津川が流れる。付近の観光施設であるトンネルからの景観が見どころ。

【その他の新潟県の観光地】

・春日山城跡

上越市にある、戦国の武将上杉謙信の居城跡。戦国期の代表的な山城で難攻不落な城といわれた。現在でも空堀や土塁などが残り国指定遺跡になっている。本丸跡からは日本海を一望できる。

・北方文化博物館

新潟市にある私立博物館。越後の大地主であった伊藤家が8年かけて建築した邸宅を保存・公開している。敷地が8,800坪の邸宅に65の部屋がある純日本式住居で、館内には美術工芸品や考古資料を展示している。

・弥彦神社

西蒲原郡にある神社で越後の国の一ノ宮。弥彦山をご神体として古くから「おやひこさま」として親しまれている。柱の直径が2mで、高さが約30mもある巨大な**朱色の鳥居**がシンボリック的存在。

・瓢湖

阿賀野市にある人造湖。昭和29年に日本で初めて野生の**白鳥**の餌付けに成功し、**飛来地**として全国的に知られている。季節によって桜、アヤマなどの花が咲く。ラムサール条約登録地。

《代表的な観光資源》

【温泉】

- ・**越後湯沢温泉**：南魚沼郡にある温泉で、川端康成の「**雪国**」の舞台になった温泉町。開湯800年の歴史を持つ。
- ・**瀬波温泉**：村上市にある温泉。日本海に面し、沈む夕日美しいことで知られる。鮭料理も楽しめる。
- ・**月岡温泉**：新発田市にある温泉。新潟市街からも車で約40分程度であり「新潟の奥座敷」といわれる。
- ・**岩室温泉**：新潟市にある温泉。江戸時代から北国街道の温泉地として栄えてきた。弥彦神社にも近い。
- ・**弥彦温泉**：西蒲原郡の弥彦神社の門前にある温泉で参拝客も多い。昭和35年に源泉が湧出した。
- ・**赤倉温泉**：妙高市にある温泉。明治以降に開発されたリゾート地にあり、大規模なスキー場も有名。

【特産品】

- ・**のっぺ**：里芋でとろみをつけ、鶏肉、ニンジン、ゴボウ、油揚げなどを加え醤油味の出汁で煮た郷土料理。
- ・**小千谷ちぢみ**：小千谷市周辺で生産される麻織物。国の重要無形文化財、ユネスコの無形文化遺産にも登録。
- ・**無名異焼**：佐渡市で焼かれる陶器。赤土を原料とし、江戸時代に佐渡金山の土を用いて焼かれたことが始まり。
- ・**へぎそば**：魚沼地方が発祥で、つなぎに**布海苔**という海藻を使用したそば。つるっとした食感。

【祭り】

- ・**長岡まつり**：毎年8月1～3日にかけて長岡市内で行われる祭り。**大花火大会**が特に有名。

No. 16 : 長野県の観光地



(代表的な観光地)

[県北部]

のじりこ ・野尻湖

上水内郡にある湖。夏はマリンスポーツ、冬はワカサギ釣りが楽しめる。1962年に湖底からナウマンゾウの化石が出土し、湖畔にはナウマンゾウの化石の展示と研究を行う野尻湖ナウマンゾウ博物館がある。

しがこうげん ・志賀高原

山ノ内町周辺一帯に広がる高原。標高が高く自然環境に恵まれ、大小70余りの湖沼や多くのスキー場やトレッキングコースなどがあり、さまざまな体験を味わうことができる。

おぶせ ・小布施

千曲川の東にある人口約1万の小さな町。江戸時代には交通と経済の要所として栄え昔ながらの町並みが残る。葛飾北斎の肉筆画を展示する北斎館や特産品の栗を使ったスイーツが人気で、年間120万人の観光客が訪れる。

[長野市]

ぜんこうじ ・善光寺

どの宗派にも属さない珍しい寺院で、古くから庶民の信仰を集める。国宝である本堂は東日本最大級。本尊は秘仏で公開されないが、丑年と未年に行われる御開帳では同じ姿の「前立本尊」を開帳している。

かわなかじまこせんじょう ・川中島古戦場

1561年(永禄4年)に、武田信玄と上杉謙信が戦いを繰り広げた「川中島の戦い」の舞台。現在は川中島古戦場史跡公園になっており、「信玄・謙信両雄一騎打ちの像」が建っている。

とがくし ・戸隠高原

北西にある戸隠山の麓の高原。周囲は自然に恵まれ、夏にキャンプや冬にスキーが楽しめる。また、戸隠山の中腹には戸隠神社がありパワースポットとしても人気がある。周辺は「そば」の産地としても知られている。

【概要】

面積が広く、日本で第4番目。明治の初期には北部の「長野県」と中南部の「筑摩県」に分かれていた。また、西部は岐阜県、東部は山梨県、南部は静岡県と風土的に近い。

そのため東西南北で風土が異なり、観光地が各地に分散されている。よってそれぞれの地域の代表的な観光地を確認しておきたい。

また、海に面していないため周囲は多くの有名な山に囲まれていて、これらの名称も押さえておきたい。

観光地の近くにはそれぞれ古くから知られる温泉地がある。

【松本市周辺】

・松本城

戦国時代（永禄年間）に築城された^{ふかし}深志城に始まり、現存する天守は国宝に指定されている。城全体は黒を基調とし、その威容とアルプスの山々の取り合わせは松本市のシンボル。

きゅうかいちがっこう

・旧開智学校

1876年（明治9年）に築造された日本で最古の小学校の校舎。擬洋風建築という和風と洋風の混ざり合った明治期の建築方法を採用している。令和元年に近代学校建築物として初めて国宝に指定された。

【県西部】

かみこうち

・上高地

梓川上流の標高1500mにある景勝地。シンボルの^{かっぱし}河童橋では穂高連峰の眺めが美しい。さらに幻想的な雰囲気のある^{みよしんいけ}明神池や^{たいしょういけ}大正池など多くの観光スポットがある。自然保護のためマイカー利用は禁止されている。

ろくざん

・碌山美術館

あすみの安曇野市にある、彫刻家の^{おざわらもりえ}荻原守衛（碌山）の作品を集めた美術館。赤レンガにツタのからまる教会風の外観は安曇野の雰囲気によく似合う。2009年に国の登録有形文化財に指定された。

【県東部】

・上田城

上田盆地の中央の上田市にあり、1583年に真田昌幸により築かれた城。2度にわたる合戦で徳川軍を撃退した難攻不落の城として知られている。現在城跡は上田城跡公園として整備されている。

こもろじょうし かいこえん

・小諸城址（懐古園）

小諸城は小諸市にある戦国時代に築かれた城で、別名^{すいげつじょう}酔月城と呼ばれる。「懐古園」は、小諸城址に残る「三の門」や石垣などが残る公園。園内には^{あみわた}千曲川旅情の歌で知られる島崎藤村の記念館や歌碑がある。

すわこ

・諏訪湖

岡谷市や諏訪市にまたがる周囲約16kmの湖。自然豊かな湖畔は整備され、ジョギングや散策が楽しめる。寒い年には冬に湖面が結氷し、山脈のように盛り上がる^{おんはしり}御神渡りという現象がみられる。

すわたいしゃ

・諏訪大社

諏訪湖周辺の4か所にある神社（上社の本宮・前宮と下社の秋宮・春宮）。起源は1500～2000年ほど前ともいわれる古事記の中にも登場する由緒正しき神社。社殿の四隅に^{おんはしら}御柱と呼ばれる^{もみ}樅の巨木がそそり立っている。

・八ヶ岳

長野県と山梨県にまたがる山々の総称。登山だけでなく周辺には多くの観光スポットがある。長野県側では蓼科高原、車山高原、蓼科湖、白樺湖などの高原や湖が多く、山岳リゾート地として知られている。

かるいざわ

・軽井沢

一般に軽井沢とは北佐久郡の^{ふる}旧軽井沢地区を指す。江戸時代までは宿場町であったが、明治に入って外国人が避暑地として注目し、それ以降日本を代表する避暑地となった。現在も清涼な気候に恵まれ人気が高い。

【県南部】

・中山道の宿場町（木曾路）

江戸と京都を結ぶ中山道のうち、長野県南部のあたりを木曾路ということがあります。ここには^{つまご}妻籠や^{ならい}奈良井などの宿場が残り、往時の姿をしのぶことができ外国人にも人気の観光地。

（なお、人気の高い^{まごめ}馬籠もここに含まれますが、岐阜県の中津川市にあります。）

・寝覚ノ床

木曾郡にある景勝地で国の名勝。木曾川の流れにより花崗岩が長い間削られてできた地形。巨大な花崗岩の城と川面のエメラルドグリーンのコントラストが美しい。また古くから^{うらたけ}浦島太郎伝説が残されている。

《代表的な観光資源》

【山岳】

- ・^{くろひめやま}黒姫山：北部の上水内郡にある標高 2053m の山。コニーデ型の整った型から「^{しなのふじ}信濃富士」とよばれる。
- ・^{しろうまだけ}白馬岳：北アルプスの山で長野県と富山県にまたがる。眺めがよく、大雪渓もあり登山客の人气が高い。
- ・^{たけがけ}槍ヶ岳：北アルプスの南部の長野県と岐阜県にまたがる標高 3,180m の山。名前の通り天を突く岩峰が特徴。
- ・^{ほだかれんぼう}穂高連峰：標高 3,190m の奥穂高岳を主峰とする山々の総称。初級から上級までの登山ルートがある。
- ・^{のりくらだけ}乗鞍岳：標高 3,026m の剣ヶ峰を主峰とする山々の総称。初心者にも比較的登りやすいといわれる。
- ・^{おんたけさん}御嶽山：標高 3,067m の山で、庶民の信仰を集めた霊山。7合目まで御岳ロープウェイも利用できる。

【温泉】

- ・^{のりく}野沢温泉：県北部の下高井郡野沢温泉村にある温泉。名物の^{のりく}野沢菜漬けとスキー場で知られる。
- ・^{ゆだなか}湯田中温泉：7世紀頃に開湯した歴史がある。付近の渋温泉と合わせて湯田中渋温泉郷といわれる。
- ・^{あさま}浅間温泉：松本市にあり、江戸時代には松本藩の御殿湯として栄えた温泉。現在でも共同浴場が多い。
- ・^{しらほね}白骨温泉：松本市西部の乗鞍岳東側中腹の渓谷にある温泉。白濁したお湯の色が特徴。
- ・^{べつしよ}別所温泉：上田市にあり、信州最古の温泉と伝わる。付近は古刹が多く「^{しんしゆ}信州の鎌倉」とよばれる。
- ・^{かかげ}鹿教湯温泉：上田市にあり、名前の由来は鹿の姿をした菩薩が獵師に温泉の場所を教えたことと伝わる。
- ・^{かみすわ}上諏訪温泉：諏訪湖東岸にあり、湖畔の間欠泉も名物。諏訪大社下社の近くには^{しもすわ}下諏訪温泉がある。
- ・^{とくらかみやまだ}戸倉上山田温泉：千曲市の川沿いにある。善光寺参りの精進落としの湯として栄え、大きな温泉街がある。
- ・^{ひるかみ}昼神温泉：県南部の下伊那郡にある。歴史の浅い温泉であるが、中京圏からのアクセスが良く発展した。

【祭り】

- ・^{おんぼしら}御柱祭り：諏訪大社で^{とら}寅と^{さる}申の年に行われる祭り。御柱を急傾斜の坂から落とす^{もろ}木落しで知られる。
- ・ウエストーン祭り：日本アルプスを世界に紹介した登山家ウエストーンを偲んで6月に上高地で行われる。

【名物料理】

- ・おやき：小麦粉やそば粉で皮を作り、中に小豆や野菜などの具材を入れて焼いた郷土食。
- ・^{ごへいもち}五平餅：半分程度ついた米に味噌や醤油のたれをつけ、^{わらじ}草鞋のような形で串にさして焼いた郷土菓子。

No. 17 : 山梨県の観光地



【概要】

富士山の北側へは電車や高速道路を利用して行くことができるため、富士五湖やその周辺など首都圏から手軽に行くことができる、人気観光地が多い。

また、長い間武田氏の領有地であったため、武田氏に関連した建造物が観光地になっている。

北西部は高地になっており、自然を求めて観光客が足を延ばす。春や秋には果物狩りを兼ねたバスツアーも多く見られる。

(代表的な観光地)

[富士山周辺]

juka

・富士山

山梨県と静岡県にまたがる標高 3776m の日本の最高峰。古来より信仰の対象で、山頂付近には富士山浅間大社奥宮がある。2013 年に周辺部分も含めて世界文化遺産に登録された。

・富士五湖

富士山の北麓に点在する5つの湖（河口湖、山中湖、精進湖、西湖、本栖湖）の総称。中央自動車道の I C や富士急ハイランドのある河口湖に多く観光客が集まるが、他の湖にも個性がありさまざまな楽しみ方がある。

おしのはっかい

・忍野八海

南都留郡にある富士山の伏流水に水源を発する8つの湧水群。江戸時代には富士山に入山する前に身を清めるために訪れる地であった。日本名水百選、世界遺産の構成資産として登録されている。

なるさわひょうけつ

・鳴沢氷穴

西暦 864 年の富士山の側火山である長尾山が噴火した際に流れ出た溶岩が冷えてできた総延長 153m の洞窟で、青木ヶ原樹海の入り口に位置する。内部は低温で地下にある「木の池」では氷柱や溶岩群を見ることができる。付近には富岳風穴という洞窟もある。

[県中央部]

・武田神社

甲府市にある、武田氏の館であった躑躅ヶ崎館の跡地にある神社で、祭神は武田信玄。境内には当時の壕、土塁、石垣等が残り、宝物殿には武田家伝来の古文書や刀剣・甲冑類が展示されている。

えりんじ

・恵林寺

甲州市にある臨済宗の寺院で武田信玄の菩提寺であった。武田氏滅亡の際、焼き討ちにあったが、そのとき僧の快川国師が「心頭を滅却すれば火もまた涼し」と発したとの逸話が残る。

ざるはし

・猿橋

大月市にある桂川に架かる橋で国の名勝に指定されている。橋には橋脚がなく、兩岸から張り出した刎木によって支えられる珍しい構造。沢山の猿がつながりあって対岸へと渡っていく姿からヒントを得たといわれる。

[県北西部]

- みたけしょうせんきょう
 ・御岳昇仙峡
 甲府盆地の北側にある渓谷。シンボルの「かくえんぼう覚円峰」は花崗岩が風化してできた奇岩で高さが約 180m ある。その麓には落差 30m のせんかたき仙娥滝がある。展望台までロープウェイが利用でき四季を通じて多くの観光客が訪れる。
- はもと
 ・清里高原
 北杜市にある、やつがたけ八ヶ岳の東南麓に広がる高原地帯。豊かな自然やのどかな牧場、美術館や各種スポーツなど観光だけでなく様々な体験ができるアウトドアフィールドとしても人気が高い。

[県南部]

- みのぶさんくおんじ
 ・身延山久遠寺
 南巨摩郡にある日蓮宗の総本山で日蓮聖人が晩年の9年を過ごした。観光地としても人気で、特に付近には 30 本のシダレザクラの木があり、4月初旬の最盛期には多くの見物客が訪れる。

《代表的な観光資源》

[温泉]

- いさわ かえふき
 ・石和温泉：笛吹市にある温泉で、昭和 36 年にブドウ畑から湧出した。周辺は秋にブドウ狩りが楽しめる。
- しもべ
 ・下部温泉：南巨摩郡にある「武田信玄の隠し湯」といわれる温泉で、山間の清流に佇んでいる。
- ゆむら
 ・湯村温泉：甲府市にある歴史のある温泉で、御岳昇仙峡や武田神社などへの観光起点になっている。

[特産品・名物]

- ・ほうとう：小麦粉を練った太くて短い麺をカボチャなどの野菜とともにみそ味で煮込んだ郷土料理。
- ・ぶどう：江戸時代にぶどう棚による栽培が始まったとされ、ブドウを原料としたワイン造りも盛ん。
- こうしゅういんてん うるし
 ・甲州印伝：漆で模様を付けた鹿革を使って作った工芸品。バッグや財布、ポーチなどの小物が多い。
- ・吉田うどん：富士吉田市の周辺で作られる郷土料理のうどん。硬くて腰が強いことが特徴。

[祭り]

- ・吉田の火祭：毎年 8 月 26 ~ 27 日に富士吉田市の神社で行われる富士山の山じまいの祭り。

No. 18 : 静岡県の観光地



(代表的な観光地)

【概要】

伊豆半島は静岡県最大の観光地。東側は伊豆急行線が走り、数多くの温泉が点在している。中央部は自然が豊かで歴史・文学に関連した観光スポットが多い。西側は駿河湾越しの富士が望める絶景が多い。

静岡市はかつて駿府とよばれ家康が幼少期と隠居後に移り住んだことから、徳川氏ゆかりの観光スポットがある。

西部の浜松は大都市であるが、それだけでなく浜名湖周辺に観光スポットが多い。

[富士山周辺 / 関連]

みほのまつばら
・三保松原

静岡市の三保半島にある沿岸に約5km 続く松原。古来より富士山を望む絶景の地として知られる。天女が舞い降り1本の松の木に羽衣を掛けたという「**羽衣伝説**」が伝わっている。

・白糸の滝

富士宮市にある幅 150m、高さ 20m の滝。川の流れと富士山の雪解け水が岩から湧き出し大小数百の滝が流れ落ちている。これが幾筋もの絹糸に例えられて白糸とよばれる。国の名勝及び天然記念物に指定されている。

[伊豆半島]

じょうれん
・浄蓮の滝

伊豆市湯ヶ島の天城山北西麓にある滝で、伊豆を代表する観光名所。高さ 25m の玄武岩の崖からに幅7m で流れ落ちる。滝の入り口には「**伊豆の踊子像**」が建ち、溪流沿いには天城名物のわさび田が続いている。

かわづななだる
・河津七滝

賀茂郡の河津川にある7つの滝の総称。河津では滝をタルとよぶ。七つの滝のうち最も大きい滝は^{おおだる}大滝で、落差はおよそ 30 メートル。そのほかの個性溢れる6つの滝も春夏秋冬異なった姿を見せている。

あまぎとうげ
・天城峠

伊豆半島の中央に位置し、川端康成の「伊豆の踊子」で知られる峠。小説に何度も登場する旧天城トンネルは明治 38 年に築造され、石造り道路トンネルとしては現存するものでは最長で、国の重要文化財に指定されている。

しゅぜんじ
・修善寺

伊豆市の**修善寺温泉**にある曹洞宗の寺院。弘法大師が 807 年に創建した名刹で、鎌倉時代には北条氏が帰依したことで発展した。山門には金剛力士像が安置されている。

じょうがさきかいがん
・城ヶ崎海岸

伊豆半島の東側の付け根部分の伊東市の南西にある約9kmの海岸。大部分が断崖で切り立った絶壁が連なる。絶景を満喫できる吊り橋や伊豆七島を望める灯台など見どころが多い。

いろうざき
・石廊崎

賀茂郡にある伊豆半島最南端の岬で西の駿河湾と東の相模湾の境目にある。周囲は断崖絶壁でその上に白い灯台が建つ。漁港からは遊覧船が出て約 30 分の行程で岩礁地帯を海から楽しめる。

[浜松周辺]

・浜名湖

西部の浜松市と湖西市にまたがる湖で南側は海（遠州灘）と通じる汽水湖。古くから**養殖ウナギ**で知られる。観光施設として遊覧船とロープウェイが運行され景色を堪能することができる。

・浜松城

15世紀頃に築城された城で、1570年に徳川家康が入城し浜松城と改称し17年間を過ごした。城を囲うように緑豊かな浜松城公園が広がる。桜の名所として知られ、360本もの木々が城周辺を彩る。

[その他の静岡県の観光地]

・日本平

静岡市にある標高307.2mの丘陵地で富士山や駿河湾越しの伊豆半島などが望める景勝地。南の斜面には、日本平と久能山を約5分で結び、日本平ロープウェイが運行されている。

・久能山東照宮

静岡市にある神社で**徳川家康**（東照大権現）を祭神とする。本殿や拝殿は国宝に指定されている。1159段の石段からの風光明媚な景観は素晴らしい。日本平山頂からロープウェイを利用できる。

・三島スカイウォーク

三島市にある全長400mで日本最長の歩行者専用吊橋。正式名称は箱根西麓・三島大吊橋という。空の上を歩いているような感覚で、橋の上からの眺望がよく、富士山や駿河湾を望むことができる。

《代表的な観光資源》

[温泉]

- ・**熱海温泉**: 熱海市にあり1500年以上の歴史を誇る。熱海城などから見える**夜景**の美しさでも知られる。
- ・**伊東温泉**: 伊東市にあり和風情緒あふれる旅館から大型ホテルや民宿など多彩な宿泊施設がある。
- ・**熱川温泉**: 賀茂郡にあり源泉の温度がほぼ100℃であり、町のいたるところで湯けむりが立ち込める。
- ・**稲取温泉**: 1956年に開湯。小さく突き出た岬にあり、眺望の優れた旅館が多い。
- ・**下田温泉**: 下田市にある蓮台寺温泉や白浜温泉などの温泉の総称。開国ゆかりの歴史散歩に人気がある。
- ・**修善寺温泉**: 町を流れる川に湧く**独鈷の湯**は、弘法大師が独鈷(仏具)で岩を砕いて湧き出させたと伝わる。
- ・**伊豆長岡温泉**: 伊豆半島を南北に流れる狩野川の西に広がる中伊豆屈指の温泉地。豊富な湯量が自慢。
- ・**湯ヶ島温泉**: 川端康成が「**伊豆の踊子**」を執筆し、かつ小説の舞台となった山間の静かな雰囲気温泉。
- ・**土肥温泉**: 西伊豆の最古で最大の温泉地。四季を通じて温暖な気候で駿河湾に沈む夕日が美しい。
- ・**堂ヶ島温泉**: 西伊豆の奇岩で知られる海岸線にあり、海上には天井に穴が開いた洞である**天窓洞**がある。
- ・**寸又峡温泉**: 静岡県北部の川根本町にある。山間にある温泉で、付近の**寸又峡**も人気観光地。
- ・**舘山寺温泉**: 浜名湖の湖畔にあるレジャー施設の整った温泉。近くにある曹洞宗の寺院が名称の由来。

[名物/祭]

- ・**安倍川餅**: つきたての餅に黄な粉をまがして砂糖をかけた江戸時代から続く静岡を代表する和菓子。
- ・**日本茶**: 静岡は長い間お茶の生産量は日本で第1位で、牧ノ原台地など20を超える生産地がある。
- ・**黒船祭り**: 下田市で5月の第3土曜日を中心に、**下田開港**の偉業をたたえ国際平和・国際親善を願い開催。
- ・**浜松まつり**: 浜松市で5月3日～5日に行われる。昼は**凧**あげ合戦、夜は御殿屋台の引き回しが行われる。

No. 19 : 岐阜県の観光地



(代表的な観光地)

【概要】

北部にある白川の合掌造りの集落は、富山県の五箇山とともに世界文化遺産に登録され、多くの観光客が集まり、その南にある高山市と合わせて北部は人気観光地になっている。

中～南部にかけては個性的な観光地が点在している。

岐阜県は日本のほぼ中央にあり、関西圏や名古屋圏、北陸圏だけでなく、峠を越えて長野県側からも訪れやすいところである。

[高山・白川地域]

・高山市

江戸時代は長い間幕府領で、江戸～明治期の街並みが残り「飛騨の小京都」とよばれる。見どころは上三之町を中心とした伝統的建造物保存地区や、宮川沿いにたつ「朝市」など。春と秋に行われる祭りは豪華絢爛。

しらかわごう

・白川郷

観光のメインは世界遺産に登録された「合掌造り集落」。荻町城跡展望台からは合掌造り集落が一望のもと見渡せる。また付近の「野外博物館 合掌造り民家園」では、白川村の歴史や文化を展示している。

・御母衣湖

白川村にある庄川をせき止めて造られたダム湖。堰堤の一部が展望台で、そこから美しい湖面や緑を見ることができる。水没する寺院から湖岸に移植されたしょうがわでいら莊川桜は樹齢 450 年と推定される天然記念物。

[中南部]

・馬籠宿

中津川市にある中山道の宿場で木曾十一宿の一番南に位置する。2005 年に長野県から岐阜県に編入された。石畳が敷かれた坂道に沿って家が建ち、途中には島崎藤村の生家跡が資料館として、馬籠の歴史を伝えている。

・恵那峡

恵那市と中津川市を流れる木曾川中流をダムでせき止めてできた渓谷。一帯は奇岩が多いことで知られ、また桜やツツジの花が美しく、これらを見物するために遊覧船が発着している。

・郡上八幡

かつて存在した郡上郡八幡町を中心とした地域。そうぎすい宗祇水という湧き水に代表される水がきれいな町。他にも見どころとして紅葉の名所である郡上八幡城がある。また夏の郡上踊りに多くの観光客が集まる。

・日本ライン

美濃加茂市から愛知県の犬山市までの木曾川流域にある約 12 km の渓谷。ドイツなどを流れるライン川に似ていることから命名された。現在船下りは休止され、ラフティングで下ることができる。

・関ヶ原古戦場

1600 年に徳川家康率いる東軍と石田三成率いる西軍が戦った、天下分け目の古戦場跡。付近の笹尾山からは関ヶ原を東西に一望でき、歴史民俗資料館では戦いに関する資料が展示されている。

・杉原千畝記念館 (人道の丘公園)

第二次世界大戦中、ユダヤ難民へのビザ発給により、数千人もの命を救った杉原千畝の功績をたたえた記念館。1992 年に開園した公園内に建てられている。

《代表的な観光資源》

〔祭り・イベント〕

- ・高山祭：高山市で4月に行われる日枝神社の例祭「春の山王祭」と10月に行われる「秋の八幡祭」の総称。引き回される屋台は「動く陽明門」といわれる。
- ・郡上踊り：郡上郡八幡町で、7月中旬から9月上旬まで30夜以上にわたって踊られる盆踊り。8月13日から4日間、夜から明け方まで夜通し踊る「徹夜踊り」は見ごたえがある。
- ・長良川鵜飼：岐阜市の長良川で5月から10月目まで、飼いならした鵜を使って鮎などを獲る伝統的漁法。

〔名物・特産品〕

- ・朴葉みそ：枯れた朴の葉の上に味噌をのせて、ネギなどの薬味や山菜などとともに焼いて食べる郷土料理。
- ・鮎料理：長良川など岐阜県では清流に育まれた鮎が多く獲れ、各地で雑炊など鮎を用いた料理が供されている。
- ・美濃焼：土岐市などの東農地域で焼かれる陶磁器の総称。約1300年の歴史がある。

〔温泉〕

- ・下呂温泉：下呂市にある川沿いの温泉。古くから湯治場として栄え草津（群馬県）、有馬（兵庫県）と並ぶ日本三名泉のひとつ。
- ・奥飛騨温泉郷：高山市にある平湯、福地、新穂高など5つの温泉の総称。北アルプスへの玄関口でもある。

No. 20 : 愛知県の観光地



(代表的な観光地)

【概要】

愛知県の東側は尾張といい、名古屋市や犬山市などを含みます。尾張藩は徳川御三家の一つで、この地にも徳川ゆかりの観光スポットがあります。

尾張より東を三河といい、岡崎や豊橋など広い地域です。(三河も東三河と西三河に区分できます。)

三河地方は、三河湾や標高 1000 メートルを超える山々など自然環境に恵まれ、変化に富んだアウトドアフィールドになっています。

[県西部 (尾張地域)]

・名古屋城

1610 年に徳川家康により築城が始まった。以来徳川御三家の筆頭である尾張徳川家の居城となっている。本末や二の丸など5つの廓から成る規模の大きな城で、特に天守閣の金の鯨はこの城の代名詞。

・熱田神宮

名古屋市にある神社で、三種の神器の一つである草薙剣くさなぎのつるぎを祀る神社。境内は約6万坪と広く静寂で都会の中にあるとは思えない。宝物館には刀剣、古文書など国宝や重要文化財に指定されたものが展示されている。

・徳川美術館

名古屋市にある私立美術館で 1935 年に開館した。収蔵品は徳川家康の遺品など尾張徳川家伝来の大名道具や工芸品などが中心。特に「源氏物語絵巻」は世界的にも知られている。

・犬山城

犬山市の木曾川沿いの高台に建つ城で、別名「白帝城はくていじょう」。現存する日本最古の木造天守は国宝に指定されている。天守の最上階からは天気の良いれば岐阜城や名古屋のビル群が望める。

・博物館 明治村

犬山市にある明治時代をコンセプトとした野外博物館。明治時代の建造物等を移築して、1965 年に開業した。建築群のうち重要文化財として、西郷従道邸、品川灯台、札幌電話交換局、宇治山田郵便局などがある。

[三河湾周辺]

・伊良湖岬

田原市にある渥美半島先端の岬。伊勢湾をはさんだ三重県の鳥羽港などと航路で結ばれている。先端にはシンボルである白垂の灯台があり、付近にはこの地から着想を得た島崎藤村の「椰子の実」の歌碑が立つ。

[県東部（三河地域）]

とよかわいなり ・豊川稲荷

豊川市にある 1441 年に創建された曹洞宗の寺院。商売繁盛・家内安全などのご利益があるとされ、年間数 500 万人の参詣者がある。境内の霊狐塚には狐像が 1000 体以上祀られている。

ほうらいじさん ほうらいじ ・鳳来寺山（鳳来寺）

鳳来寺山は新城市にある山で「声のがっぼうそう仏法僧」とよばれるコノハズクが生息していることで知られる。山全体が天然記念物に指定されている。鳳来寺は鳳来寺山の山頂にある寺院で徳川家光創建の蓬萊山東照宮が前身。

こうらんけい ・香嵐渓

豊田市足助町にある渓谷。紅葉の名所で、山全体に約 4000 本のモミジの木があり 11 月中旬～下旬にかけて水面を紅色に染め上げる。また、カタクリの群生地があり 3 月中旬が見ごろ。

《代表的な観光資源》

[温泉]

- ・西浦温泉：がほごおり蒲郡市の三河湾に面した西浦半島の先端にある温泉。高台から海を望む海は 360°のパノラマ。
- ・三谷温泉：みや蒲郡市にあるマリンスパが楽しめる温泉。温泉の背後にある山の頂上には弘法大師の像。
- ・湯谷温泉：ゆや新城市にある鳳来寺山のふもとに湧き出る温泉。鳳来寺の開祖により発見されたと伝わる。

[特産品]

- ・瀬戸焼：瀬戸市やその周辺で生産される陶磁器の総称。1000 年を超える歴史があり、陶磁器の代表的存在。
- ・常滑焼：とこなめやき常滑市などの知多半島で生産される陶磁器。鉄分を多く含む陶土を使用し朱色の焼き上がりが特徴。
- ・きしめん：名古屋名物の平打ちうどん。江戸時代から庶民に親しまれている。
- ・八丁味噌：はっちょうみそ岡崎市八帖町はっちょうちようで生産される濃い赤褐色をした豆味噌。煮込みうどんや味噌カツとして人気がある。

※ 2022 年講座のテキストには Check Test はありません。

全部の動画のアップが終わったら「直前チェックシート」をホームページに掲載します。